100周年おめでとう〜!!

秩父鉄道 SLのひみつ

飯能市立加治東小学校
制作 池田 睦
発行 平成26年8月18日

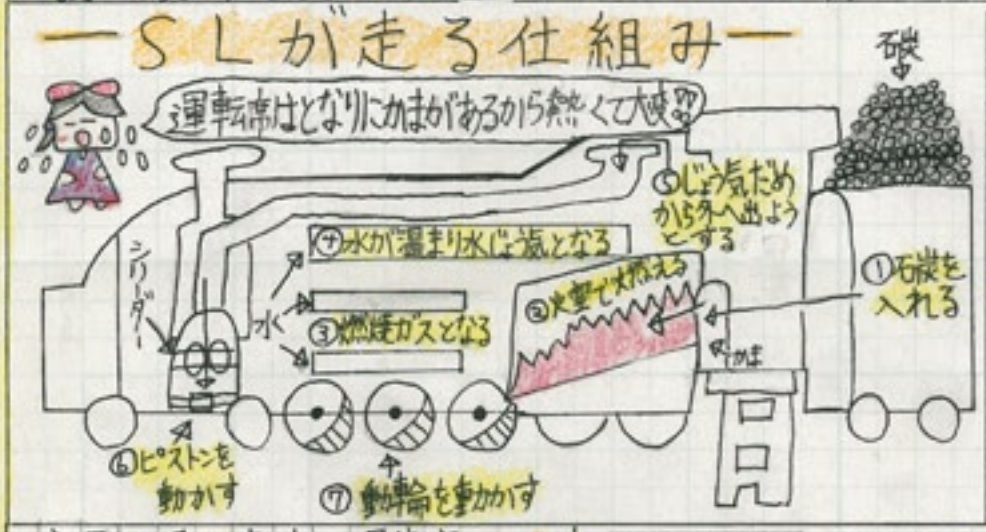
人と人をつなぐ電車

去年、私は姉と二人で私の住んでいる飯能から熊谷のおばあちゃんの家まで初めて電車で行きました。その時、秩父鉄道にはSLが走っていることを知り今年こそSLに乗ってみたいと思いました。人と人をつなぐ電車の良さ、そしてSLのみりょくをレポートします!!

〜パレオエクスプレスについて〜

1、名前…パレオエクスプレス
2、色…黒
3、全長…18.275m
4、重量…58.70t
5、煙管の長さ…4.580mm
6、大煙管の本数…22本
7、名前の由来…
「パレオ」は秩父地方におよそ200万年前に生息していたかいじゅう、パレオパラドキシアにちなんだ名前。
「エクスプレス」は急行を意味する。
8、C58363とは…
「C」は動輪の数(3つ)。
「58」は、運転席の後ろに炭水車を連結している大型機関車の8番目。
「363」は、C58の中で363番目に作成。

―SLが走る仕組み―



―SL乗車体験―

①思ったよりも運転席が高かった。右側にはかまがあり、石炭を入れるそうだ!!

②動輪みがきを体験!!一ふきしただけで真っ黒になりました。

③工場の中でSLの車輪を動かしたりブレーキをかけたりする体験をしたよ♡

〈調べて分かった事〉

私が乗ったSLは、昭和47年に現役引退をして、その後吹上町立吹上小学校の校庭で小学生と一緒にのんびりと余生を送っていましたが、さいたま博覧会にあわせて「SL運行8」の声があがりその大役に抜擢されたそうです。

私は、SLのことを調べていくうちに、SLのことがどんどん好きになっていきました。私が好きな所は、汽笛の音です。発車する時や乗っているときに「ポッポー」と鳴るので聞いていると、心がはずみます。私が乗っていた時、SLが通るとたくさんの人が手をふってくれていました。きっとSLは、みんなから愛されているんだなとそのとき思いました。維持していくのは大変だけれどもずっと走り続けてほしいです。

Q1 SLのみりょくはどこですか。

電車よりゆっくり走るから、荒川や秩父の山々がゆっくりながめられることと、汽笛をならし、煙を出して走る所が、写真をとる人達に喜ばれる所です。

Q2 SLの仕事で大変な所は何ですか。

石炭を燃やしてじょう気をつくるので火を絶やさないように石炭をくべるのが大変です。

Q3 秩父まで石炭をどの位使うのですか。

おうふくで1も使っていて、積んでいるのは6もです。

Q4 SLが一度走らなくなったのはなぜですか。

SLは、石炭を基本燃料として重油も使い走るので、費用がたくさんかかるし石炭や重油がだんだん少なくなってきたため、スピードアップした電車の登場で少なくなってきたからです。

Q5 SLの仕事をして良かったことは何ですか。

大変な仕事ですがみんなに喜んでもらえたりSLが通ると手をふってくれたりする所です。